



尿検査からわかること

北病院外来 看護師
糖尿病看護認定看護師

前田 るみ

尿はただの排泄物ではなく、体の中の様子を教えてくれる「手紙」のような役割を持っています。

尿糖は、健康な人では一般的に陰性になりますが、血糖値が高すぎて腎臓の再吸収が追い付かない場合、陽性になります。もし血糖値が低くても尿糖が陽性の場合、血糖が高い時間帯が近い過去にあったと考えられます。

尿たんぱくは、糖尿病腎症の診断に必要な検査です。初期の腎症では微量アルブミン尿という特殊な検査で診断されます。陽性の場合すべてが糖尿病腎症とは限らず、他の腎臓の病気の可能性もあります。

他にケトン体や潜血の有無、膀胱炎など感染症の有無、特殊な検査としてインスリン分泌能力の測定も可能です。血液検査に勝るとも劣らぬ尿検査、ご自身の結果を確認し、療養に役立てましょう。

